

委員会の



(仮称)ふれあいセンター広丘建設予定地

地元と協議し必要なもの、地域にふさわしいものなら設計の変更もあり、柔軟に対応したいとした上で、地元の声からは入浴施設のニーズが感じられず必要性について納得のいく状況には至っておらず、今後は深い話し合いをしていく必要がある。信州Fパワープロジェクトの余熱利用を含め調査を行っているが、6月頃まで結果は出ないと説明を受けました。また、北部圏域では、市の重点施策のうちの一つをつくしの里と連携をとりたいと説明を受けました。

委員より、行政と地元とのミスマッチがあり、今後は話し合いに市長や副市長が参加して地元合意が得られるよう、努力を惜しまず対応するよう要望しました。また、広丘・吉田地区等は市の重要な

道路維持費の除雪対策事業については今年度の大雪で除雪作業委託料と重機借上げ料で約6千5百万円、融雪剤の備品購入費約3千万円と大幅増額になり、補正をお願いす

市道の廃止及び認定についての議案は、2路線の廃止と4路線を認定するもので、総路線数は、2千454路線、総延長88万8千671mとの説明でした。

経済建設委員会 農業経営体・育成事業 青年就農給付金に期待

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件8件、事件案件3件、予算案件9件で、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

地域であり、広丘支所建て替えを含め、広丘のまちづくり全体の中で考えてほしいと意見がありました。

採決の後、委員よりこの議案に対し、附帯決議案が提出され、「地元地区とは丁寧な話をする中で計画を示してほしい」との賛成討論があり、全員一致で可決しました。

勤労者体育センター耐震補強工事設計委託料の補正予算と勤労青少年ホーム音楽堂の

観光費の道の駅「木曾の大橋駐車場」の整備後の効果についての質問に、一昨年と比べて1.5倍程度の人出があり、基盤整備の効果がでているとの答弁がありました。また、みどり湖の釣り収入の減少についての質問に、来年度はへら鮎放流量を増やす予定であるとの説明があり、全国大会では、日本中からの釣りファンが来場するので、大手スポンサーとも協力して欲しいとの要望もありました。

除雪用重機については、3年間の実施計画で年1台ずつ確保するとの説明がありました。



老朽化が進む広丘支所

宮繕修繕費の説明を受け、音楽堂が無くなったらピアノはどうなるのかとの質問に、そのまま配備されるとの答弁がありました。

広丘支所拡充に係る不動産鑑定30万円についての質問に現在の支所東側の民地で実施するとの答弁がありました。

補正予算では、青年就農給付金225万円は、給付期間を最長5年間とし、1人1年分150万円、1人半年分75万円を給付するもの、また、企業立地推進事業の不動産鑑定委託料の信州Fパワープロジェクト用地の鑑定料80万1千円、塩尻駅周辺整備事業の駅前広場改修工事費2千940万円、君石団地集会所の木造平屋建て111㎡の建築に伴う負担金等の説明を受け、これを了承しました。



青年就農給付金で活躍が期待される就農者のビニールハウス